栗山町第７次総合計画

令和５年度～令和 12 年度

ふるさとは栗山です。

～みんなが元気なまち～

概要版

北海道栗山町

ふるさとは「くりやま」です。

栗山町長　佐々木　学

　このたび、多様な機会を通じ、多くの町民の皆様から貴重なご意見、ご提言をいただき、また、総合計画審議会委員ならびに町議会議員の皆様の熱心なご審議をいただき、「栗山町第７次総合計画」を策定することができましたことに、心からお礼申し上げます。

　本計画は、令和５年度から令和１２年度まで、８年間の町政の進むべき方向性を明らかにし、町財政の健全運営と個性ある自律したまちづくりの両立を前提に、その具体化に向けた政策等を効率的かつ効果的に実行するための指針となるものです。

　近年、加速化する人口減少や少子高齢化、地域社会のデジタル化や脱炭素化への対応など、地方自治体を取り巻く社会経済情勢は大きく変化しております。

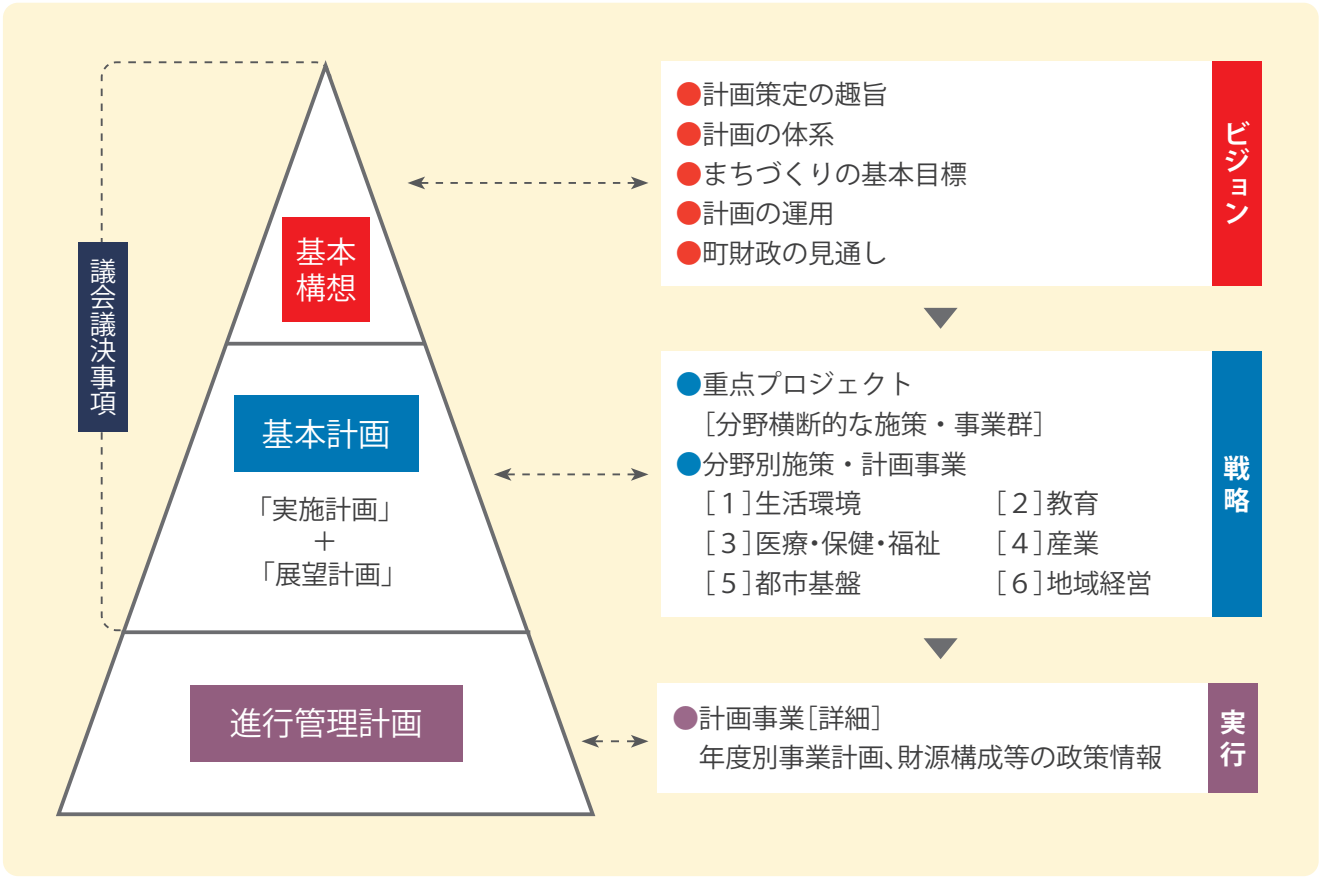
　こうした中にあって、まちの活力を持続していくためには、住みやすく、働きやすく、居心地が良い環境が整備され、多くの人から選ばれるまちであるとともに、生きる幸せを実感し、子どもたちが将来へ夢・希望を持って成長できるまちづくりを進めていくことが重要です。本計画では、まちづくりの合言葉「ふるさとは栗山です。」を継承し、積み重ねられた町の歴史と先人の夢をつなぎ、次代に誇れるまちづくりを推進していくとともに、町民一人ひとりが主役となり、和衷協力の精神で地域に根差したまちづくりを推進してまいります。

　まちの将来像として掲げた「みんなが元気なまち」の実現に向けて、今後も一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

計画の体系について

［1］計画の構成

本計画は「基本構想」、「基本計画」、「進行管理計画」の３層で構成され、このうち「基本構想」と「基本計画」の策定・改定・見直し等は、議会の議決の対象となります。



【基本構想】

基本構想は、まちの将来像や重点政策方針、分野別政策の基本方針など、まちづくりの基本目標を定めるほか、計画の財源（町財政の見通し）、改定・見直し手続きなど、計画の運用に関する基本ルール等を定めるものです。

【基本計画】

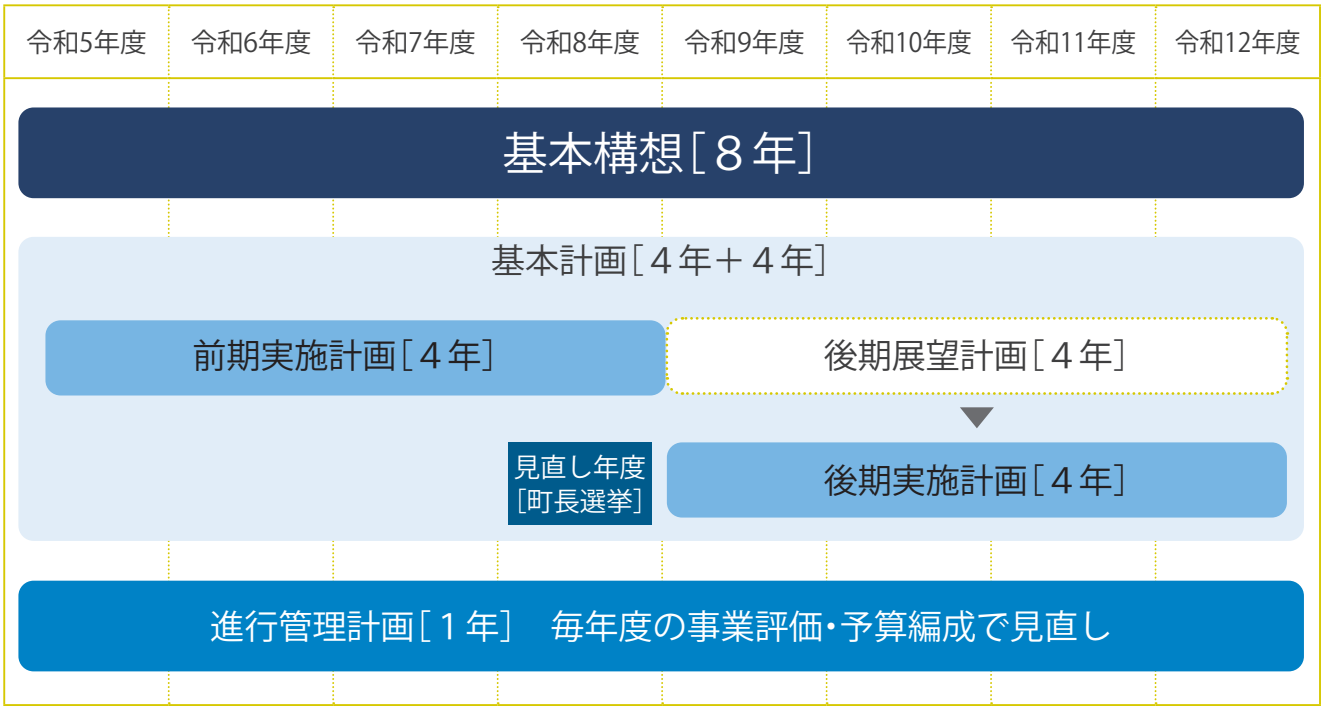
基本計画は、分野別政策の基本方針に基づく施策・計画事業を定めるほか、重点政策方針に基づく分野横断的な重点プロジェクトを定めるものです。

【進行管理計画】

進行管理計画は、基本計画における個々の計画事業の進行を適切に管理するため、年度別の事業計画（事業内容と事業費）や、財源構成等を記載した詳細の政策情報であり、毎年度、事業評価の結果等を含めて公表するものです。

［２］計画の期間

社会経済情勢への対応や町長任期との整合性を図るため、計画期間は８年とします。ただし、計画期間中に町長が交代した場合は、必要に応じて計画期間を見直します。



【基本構想】

令和５年度～令和１２年度の８年間とします。

【基本計画】

実施計画（前期）４年と、展望計画（後期）４年で構成します。

●実施計画［令和５年度～令和８年度］
財源調達を含めて、前期４年で実施が確実に見込まれる政策等で構成します。

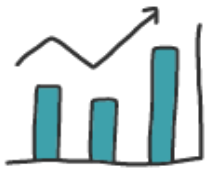
●展望計画［令和９年度～令和１２年度］
将来を展望する政策構想と、実施計画（前期）の策定時点では緊急性が低い政策等により構成します。

※展望計画に掲げた政策構想等は、前期４年目に施策・事業評価の結果や町長公約等を踏まえた総合的な再検討と議会の議決を経て、後期実施計画に反映されます。

【進行管理計画】

毎年度（１年ごと）の事業評価・予算編成で見直しを行います。

まちづくりの基本目標



1 まちづくりの基本理念

1 情報共有のまちづくり

まちの将来像や政策等の目標・成果などを町民が共有できるよう、適切な町政情報の公開・提供を前提としたまちづくりを推進します。

2 町民参加のまちづくり

町民一人ひとりが主体的に参加・参画するまちづくりを推進します。また、町民が政策等の形成過程に参加できる機会の充実を図ります。

3 連携・協働のまちづくり

重点政策方針に基づく分野横断的な政策展開など、町民相互、町民と行政が連携・協働するまちづくりを推進します。

4 持続可能な自律したまちづくり

地方分権時代に対応した自律したまちづくりを推進するとともに、町財政の健全運営と個性的で効果的な政策展開を両立した、持続可能なまちづくりを推進します。

2 まちづくりの合言葉・まちの将来像

ふるさとは栗山です。

～みんなが元気なまち～

◎［まちづくりの合言葉］

◎［まちの将来像］

まちづくりの合言葉を**「ふるさとは栗山です。」**とします。積み重ねられた町の歴史と先人の夢をつなぎ、次代に誇れるふるさと栗山を築いていくため、町民一人ひとりが主役となり、和衷協力の精神で地域に根差したまちづくりを進めます。

また、目指すべき理想のふるさと栗山の姿を表す「まちの将来像」については、**「みんなが元気なまち」**とします。みんな（子どもたち・ひと・地域・産業）がつながり（絆）、元気（育む･優しい･輝く･創る）あふれる人生１００年のまち「くりやま」を目指します。

みんな

・子どもたち　ひと　地域　産業
・つながり　絆

元気

・育む　優しい　輝く　創る
・人生１００年のまち「くりやま」

総合計画とは、まちの目指すべき将来像を定め、生活環境、教育、医療・保健・福祉など、今後８年間、町が進める全ての政策の根拠となる最上位計画です。

計画に基づく施策・事業の実行財源は、財政計画との連動により確保されており、財政の健全運営と個性ある自律したまちづくりを両立できる仕組みとなっています。

3 計画期間中の目標人口

令和 12 年（10月時点）＝ 10,200 人

		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
推計	人　口［人］	10,866	10,675	10,484	10,293	10,103	9,912	9,722	9,531
	高齢化率［%］	42.3	42.7	43.2	43.6	43.9	44.4	44.8	45.2
目標	人　口［人］	**11,062**	**10,935**	**10,808**	**10,687**	**10,567**	**10,446**	**10,326**	**10,200**
	高齢化率［%］	**41.7**	**41.9**	**42.1**	**42.2**	**42.3**	**42.4**	**42.6**	**42.7**

人口の考え方

平成 27 年 10 月時点の国勢調査人口を基準としています。

目標人口の設定

重点プロジェクトとして取り組む「若者、子育て世代が移住・定住しやすい環境づくり」などの成果として、若者、子育て世代などの人口増加を一定数見込んだ数値で目標設定しています。

4 総合計画とＳＤＧｓ

SDGs は、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、平成 27 年（2015 年）に国連サミットで採択された国際目標として、17 の目標と 169 のターゲットで構成されています。わが国でも SDGs の取組を推進しており、本町の総合計画においても、各施策に位置づけた事業を総合的に取り組むことによって、SDGs の目標達成を目指します。

４つの重点プロジェクト

1「子どもたち」が元気なまち｜若者定住対策・教育環境整備

子どもたちが将来へ夢・希望を持って成長できるまちづくりを推進します

①若者、子育て世代が移住・定住しやすい環境づくりの推進

1）若者、子育て世代の移住を促進する環境づくりの推進	移住コーディネーターの配置継続、空き家流通促進事業の実施、テレワーク環境の充実による関係人口の創出　など
2）若者世代が求める雇用の場づくりの推進	企業誘致活動の支援、新規企業の進出等に係る優遇措置、首都圏で開催されるビジネスフォーラムへの参加　など
3）都市圏への交通アクセスなど、公共交通の利便性の向上	民間バス路線維持のための支援、さっぽろ圏への交通アクセス向上、町営バスの乗り継ぎの利便性向上に向けた検討　など

②地域ぐるみで安心して子育てができる環境づくりの推進

1）子育てや発達支援、保育サービスなどの充実	高校３年生までの医療費助成、子育てサポート事業、育児応援企業への奨励金制度の創設、子ども・子育て条例の制定　など

③教育環境のブランド化の推進

1）各種教育施設等が連携した教育プログラムの推進	小・中学校への円滑な接続のための連携プログラムの推進、介護福祉学校と栗山高校との連携教育プログラムの開発・運用　など
2）地域資源を活かした「ふるさと教育」の推進	国蝶オオムラサキを学ぶ機会の提供、ハサンベツ里山環境の保全・整備、郷土芸能の普及・継承の推進　など
3）国際交流を通じて国際感覚を身に付けた人材の育成	介護福祉学校におけるフィンランド交換留学、町内在住の中高生の海外派遣研修（ホームステイ・現地学生等との交流等）　など
4）魅力ある栗山高校づくりの推進	生徒の資質向上のための各種支援策の充実、産学官の参画による教育モデルの推進、栗山高校女子硬式野球部の活動支援　など

人口減少・少子高齢化・自然環境保全・産業活性化などまちが抱える課題に対応し、より良いまちづくりを進めるため、重点的に取り組む４つのプロジェクトを紹介します。

重点

2「ひと」が元気なまち｜健康寿命延伸・連帯協働

生きがいをもって暮らせるまちづくりとふるさと栗山で生きる幸せを実感できるまちづくりを推進します

①町民が心身ともに健やかに暮らせるまちづくりの推進

1）町全体で健康づくりを支え守るための環境づくりの整備	町民の主体的な健康づくりへの支援、健康づくり活動を行う組織への支援、「健幸寿命延伸のまちづくり宣言」の周知　など
2）地域に必要な医療受診環境の整備	オンライン診療の導入支援、在宅医療体制充実に向けた訪問診療・看護の推進・検討、栗山赤十字病院の改築支援　など

②生活習慣の改善と介護予防の推進

1）生活習慣病やがん予防に向けた健（検）診受診率の向上	若年層のがん検診、特定健診受診率向上対策、生活習慣病重症化予防対象者へ保健指導の実施（ハイリスクアプローチ）　など
2）介護人材の育成や地域の支え合い活動の推進など介護予防の充実	介護事業所就業者の処遇改善支援制度の検討、高齢者見守り活動体制の構築、ケアラーの包括的な相談・支援体制の構築　など

③デジタル化の推進及び町民と行政の連帯・協働による地域活性化

1）デジタル技術の活用による住民サービスの向上	各学校における協働学習や情報教育に適したＩＣＴ環境の構築、マイナ保険証登録の推進、行政手続きのオンライン化　など
2）新たな情報発信体制による地域コミュニティの活性化など情報発信の充実	情報収集･発信する人材の育成､情報コンテンツの企画･制作･発信、コミュニティ放送局を活用した情報発信　など
3）女性活躍の推進	政策・施策の立案に関する女性参画の促進、栗山町男女共同参画アクション・プランの策定及び施策推進　など

４つの重点プロジェクト

3 「地域」が元気なまち｜自然環境保全・都市基盤整備

次代に誇れるまちづくりと誰もが住みやすいまちづくりを推進します

①栗山の自然・歴史・文化の保全・再生

1）豊かな自然・里山環境の保全・再生	国蝶オオムラサキ生息環境の保全・再生、ハサンベツ里山環境の保全・整備、新たな担い手・活動団体への育成支援　など
2）郷土芸能の継承活動の推進など文化遺産の理解促進	文化財の指定・保護、開拓記念館事業の推進、郷土芸能の普及・継承の推進、歴史的建造物の保存及び利活用の検討　など

②安定したごみ処理体制の構築と地球温暖化対策の推進

1）広域共同処理によるごみ処理体制の構築	新たなごみ分別方法の説明会開催や啓発用パンフレットの作成、道央廃棄物処理組合による焼却処理体制構築に向けた協議　など
2）温室効果ガスの排出抑制対策など地球温暖化対策の推進	家庭用太陽光発電システム設置費等補助制度の推進、民有林の整備支援、温室効果ガス吸収源対策事業の調査・検討　など

③安全・安心な都市基盤の整備

1）安全・安心な道路環境の維持・確保	道路改良・舗装（杵臼本線、湯地継立線）、交通安全対策（錦１号線歩道整備）、街路灯ＬＥＤ化工事　など
2）安全・安心な居住環境の整備	中里住宅団地第一期の造成、中央住宅団地の造成、公営住宅の建替え（中央団地、継立団地、中里団地）、公営住宅の改修　など
3）魅力的な街なみ・景観づくりの推進	旧継立中学校施設の活用、日出生活館の改築、スキー場跡地を活用した御大師山周辺整備、錦地区周辺の整備推進　など

重点

4「産業」が元気なまち｜産業振興対策

経済の成長が好循環するまちづくりを推進します

①農地を守り持続可能な農業を推進

1）生産性の向上や災害に強い農業基盤の整備	道営農地整備事業（継立、円山、御園等）、土地改良センターの設置、畑地帯の整備計画策定及び推進　など
2）円滑な農地継承の推進による持続可能な農業生産体制の構築	地球温暖化防止等に効果の高い営農活動に取り組む農業者への支援、家畜排せつ物による堆肥化など有機物資源の活用検討　など

②魅力ある商工業等の振興と関係人口の創出

1）企業誘致活動及び企業版ふるさと納税の推進	新規企業の進出等に係る優遇措置、第５期工業団地の造成及び販売促進、企業版ふるさと応援寄附の推進　など
2）魅力ある商店街及び観光・交流における組織体制づくりの推進	商店街活性化・賑わい創出事業、観光・交流プロジェクト推進体制の構築、地域おこし協力隊制度を活用した起業者育成　など

③担い手育成及び雇用環境づくりの推進

1）農林業の担い手育成の推進	農業後継者の育成、青年就農者への助成、新規就農支援、森林空間活用プロジェクト推進体制の構築・人材育成　など
2）労働者への支援策検討など労働環境の向上	雇用労働実態調査、南空知４町による「通年雇用促進支援事業」、栗高生を対象とした就職前職業ガイダンスの実施　など
3）ものづくりを通じた地域活動や地域産業の担い手育成の推進	ファブラボ栗山の運営、まちの未来を開拓する担い手育成、工作設備等の導入・維持管理、町内外団体や他事業等の連携・支援　など

Ⅰ 生活環境

～心豊かに暮らせるふるさとづくり～

［1］ごみ処理

中間処理を行い再資源を推進	リサイクルセンター等における資源物再利用の推進や生ごみ処理機器の助成制度の創設　など
充実 ごみの正しい知識の普及啓発と協力体制づくりの推進	新たなごみ分別方法の説明会の開催やパンフレットの作成、食品ロス対策の啓発　など
充実 安定したごみ処理体制の構築	広域組合（道央廃棄物処理組合）による焼却処理体制の構築及び最終処分場の稼働に向けた協議　など
充実 ごみ処理施設・設備など計画的な更新・修繕	堆肥化施設稼働終了に伴う施設の利活用、リサイクルセンター機器・設備等の改修、ごみ収集車の更新　など

［2］環境・エネルギー

充実 温室効果ガス排出抑制など地球温暖化対策の推進	家庭用太陽光発電システム設置費等補助制度の推進、温室効果ガス吸収源対策事業の調査・検討　など

［3］防災

防災知識啓発、地域防災活動の推進	総合防災訓練の実施、避難所マニュアルの作成及び訓練の実施、自主防災組織設置支援　など
充実 災害時の危機管理体制の充実	各小・中学校等の非常用電源設備の整備、ＦＭラジオなど災害発生時における情報伝達手段の構築　など

４つの重点プロジェクトのほか、町民生活に関するさまざまなサービス提供・課題解決のため、町では分野ごとに各種事業を行います。以下、政策分野ごとにその主なものをご紹介します。

［4］消防・救急

消防車両などの計画的な更新	消防署高規格救急自動車、消防署指揮広報車、第３分団第２部小型動力ポンプ積載車の更新　など
新規 消防隊員の装備品の整備、更新	火災現場で活動する消防隊員の空気ボンベ、リユース型感染防止衣などの整備、更新
ＡＥＤの活用など救急救命講習の実施	ＡＥＤを活用した救急救命講習やＡＥＤ設置拡大に向けた啓発活動　など
消防団施設の更新など、消防団活動の充実・強化	屋外拡声放送設備整備、消防団員用被服一式、雨衣の更新　など

［5］生活安全

交通安全運動及び交通安全施設整備の推進	交通安全教育の推進、交通安全組織の育成、道路警戒標識の設置整備　など
高齢運転者の免許証自主返納の支援	ハイヤー利用料金又は町営バスの回数券の助成や運転経歴証明書交付手数料の助成　など
地域の防犯・安全運動の推進	防犯カメラの設置及び運用、街路灯の設置や維持管理に対する支援　など
消費生活に関する啓発活動の支援や相談窓口の充実	「消費者まつり」や啓発事業などを行う栗山消費者協会活動の支援、消費生活相談員による相談窓口の開設　など
新規 墓園・墓地の環境づくりの推進	墓園・墓地の環境美化、合葬墓の整備の検討、栗山町墓園の新たな区画の受付、提供区画・入口道路の整備

Ⅱ 教育

～人々が元気に輝くふるさとづくり～

［1］学校教育

充実 ICT の利活用の推進	一人一台端末の更新、各家庭へのＷｉ－Ｆｉ環境の整備推進による家庭学習の充実　など
新規 幼保小中一貫教育連携プログラムの推進	就学前から小・中学校への円滑な接続のための幼保小中一貫教育連携プログラムの作成及び推進　など
充実 学生寮の計画的な改修と施設運営の改善	入寮者の生活環境向上のための改善、施設の効率的な管理運営　など
充実 学校経営基盤の確立を図り、超高齢社会を支える優れた介護福祉士を養成	学生確保対策、介護人材の確保に関する自治体包括連携の推進、国家試験対策、フィンランド交換留学　など
充実 福祉・介護分野における高専一貫教育プログラム開発・実証事業の実施	栗山高校との連携による高専一貫教育プログラムの開発・運用
充実 栗山高校の生徒確保と希望進路を実現する支援策の充実	資格取得試験受験料の補助など各種支援策の充実、通学支援や給食提供等に関する調査・検討　など
充実 栗山高校「魅力化ビジョン」の推進	産学官の参画による教育モデルの構築・推進、栗山高校女子硬式野球部の活動支援　など

［2］生涯教育

家庭教育の機能を高める啓発・支援	保護者に対する学習機会の提供（家庭教育講演会等の開催）、保護者に対する情報提供
青少年の体験活動機会の提供	青少年体験活動事業（くりやまキッズクラブ）の実施
町民の多様な学びの機会づくり	町民の学習機会の提供、生涯学習情報誌「マナビィ」の発行
町民の読書活動を支援	ミニくりプロジェクト、子育てブックスタートだっこ＆ぶっく、移動図書館車の更新　など
地域と学校が連携・協働した教育活動の推進	地域教育協議会の開催、地域と学校の協働活動の推進

［3］自然環境教育

充実 国蝶オオムラサキの生息環境の保全・再生、生態の公開	オオムラサキ館の運営管理、オオムラサキ生息環境の保全・再生、自然繁殖の推進　など
充実 ハサンベツ里山づくりの町民活動を支援	ハサンベツ里山環境の保全・整備、里山計画実行委員会等への活動支援、新たな担い手・活動団体への育成支援　など
充実 ふるさと自然体験教育の推進と「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」の利活用	小･中学校等の自然体験学習の実施､「雨煙別小学校 コカ･コーラ環境ハウス」の大規模修繕　など

［4］スポーツ

生涯スポーツの推進	スポーツ協会・スポーツ少年団・くりやまハーフマラソン実行委員会への支援　など

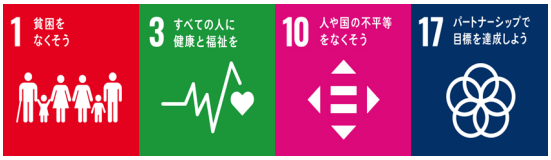
［5］芸術･文化

町民が芸術文化に親しむ環境づくりと芸術創造のまちづくりの推進	演劇・美術展等・音楽・芸術文化鑑賞事業、文化振興基金補助金事業、工房体験教室事業の実施
充実 ふるさと栗山の文化財保護・活用や郷土芸能の継承活動の推進	文化財の指定・保護及び歴史的建造物の活用、開拓記念館事業の推進、郷土芸能の普及・継承の推進　など

［6］国際･地域間交流

少年ジェット派遣事業の実施	町内在住の中高生（８名程度）の海外派遣研修（ホームステイ・現地学生等との交流等）の実施
姉妹都市（宮城県角田市）、被災地などとの青少年交流事業の実施	姉妹都市子ども交歓のつどい・姉妹都市青年交歓のつどい、被災地児童生徒の受入・交流事業の実施

Ⅲ 医療・保健・福祉



～健幸で生きがい感じるふるさとづくり～

［1］保健

生活習慣病等の早期発見・治療に向けた健（検）診と疾病の重症化予防の実施	若年層へのがん検診、特定健診の受診率向上対策、生活習慣病重症化予防対象者へ保健指導　など
妊娠前から乳幼児期の健やかな発達・発育を支援し、次世代の健康を支援	妊産婦や乳幼児等に対する切れ目のない支援、各期に応じた母子保健事業の実施　など
新規 マイナ保険証やオンライン診療導入支援制度の創設などデジタル化を推進	マイナンバーカードの保険証登録の推進、オンライン診療の導入支援　など
新規 新型コロナウイルス感染症対策の推進	ショートステイ（自主隔離）安心支援事業、施設従事者への検査費助成事業、ワクチン接種の推進　など

［2］地域医療

充実 地域に必要な医療水準の維持	在宅医療体制充実に向けた訪問診療・看護の推進・検討、救急医療の受け方など適切な受診の啓発　など
新規 栗山赤十字病院改築事業の推進	栗山赤十字病院の改築支援

［3］児童福祉

充実 子ども医療費の助成拡大の実施	高校３年生までの医療費の助成（町外通院の助成拡大）
充実 子育て家庭の支援や子育てしやすい環境の充実	子育てサポート事業、育児応援企業への奨励金制度の創設、子ども・子育て条例の制定　など
児童の健全な遊び・活動の場と放課後の居場所づくりの推進	児童センターの運営、栗山・角田・継立地区の放課後児童クラブの運営
保育園、こども園などと連携を図り、保育・教育体制を充実	一時保育・延長保育や新制度による保育料の軽減、病児・病後児保育事業の調査検討　など
心身障がい児の療育サービス利用に係る費用負担の軽減	障がい児通所支援等の利用に係る費用の一部助成、町外通院費などの助成割合の拡充検討

［4］高齢者福祉

高齢者の介護予防事業の推進	運動機能向上事業、認知機能低下防止事業、住民主体の介護予防活動の実施
生活支援を中心とした地域包括ケアの充実	配食サービスの提供等、除雪費用助成、緊急通報システム設置事業、無年金者生活支援給付金支給事業の実施　など
新規 介護人材の育成	介護職員初任者研修実施事業、介護人材確保支援事業、介護事業所就業者の処遇改善支援制度の検討　など

［5］地域福祉

充実 高齢者の社会参加と地域の支え合い活動の充実	まちなかカフェ事業の運営、生活支援ボランティア制度の構築、高齢者見守り活動体制の構築　など
充実 ケアラー支援の充実	ケアラーへの理解と周知、ケアラー支援を担う人材育成、ケアラーが相談・交流できる場所の確保　など

［6］障がい者福祉

障がい者の社会参加と自立した地域生活の支援	福祉ハイヤー利用助成や家事援助等の障害者地域生活支援事業、障がい者団体等の活動支援　など
障がい者への専門的な相談支援体制の充実	障がい者の多様化するニーズ等に対応するための基幹相談支援センターの設置　など

Ⅳ 産業

～活力と賑わいあふれるふるさとづくり～

［1］農林業

地域の中心的な役割を果たす人材の育成	栗山町農業教育振興会（農業研修）への助成、栗山町農業振興公社による後継者育成事業　など
充実 多彩な人材の確保・定着を推進	青年就農者への助成、認定農業者制度の取組、各種利子補給、栗山町農業経営支援基金の創設　など
充実 道営事業による計画的な基盤整備と施設の維持管理	道営農地整備事業、（継立、円山、御園等）、土地改良センターの設置・推進
新規 畑地帯の計画的な基盤整備の推進	各地区期成会と連携した畑地帯の整備計画策定及び事業の推進
持続可能な農業生産体制の構築	地球温暖化防止等の営農に取り組む農業者への支援、家畜排せつ物の堆肥化など有機物資源の活用検討　など
新規 森林空間の新たな活用の推進（ゼロカーボン意識の醸成）	森林空間活用プロジェクト推進体制の構築、ワーケーション向け森林体験プログラムの開発　など

［2］商工業

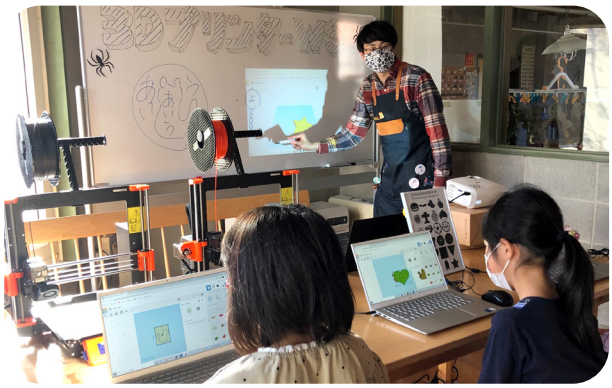
充実 魅力ある商店街づくりの推進	商店街活性化・賑わい創出事業、商店街振興対策事業、商店街デジタル化推進事業の実施　など
充実 積極的な企業誘致活動	新規企業の進出等に係る優遇措置、新規企業の開拓、首都圏で開催のビジネスフォーラム等への参加　など
充実 工業団地の造成	第５期工業団地の造成及び販売促進

［3］観光･交流

充実 ファブラボ栗山を運営し、「まちの未来を開拓する担い手」づくりを推進	ファブラボ栗山の運営、まちの未来を開拓する担い手育成、町内外団体・事業者や他事業等の連携・支援　など
充実 地域資源を磨き上げ観光・交流による地域経済活性化を推進	観光・交流プロジェクト推進体制の構築・運営、地域資源の掘り起こし　など
充実 栗山町への移住・定住の促進	移住コーディネーターの配置継続、ＵＩＪターンの推進、空き家流通促進事業の実施　など
充実 「くりエイトするまち栗山町」の地域ブランドを活かし、関係人口を創出	クリエイター定着促進に向けた施策展開、テレワーク環境の充実等による関係人口の創出　など

［4］雇用環境

充実 雇用の確保と労働環境の向上	雇用労働実態調査､南空知４町の「通年雇用促進支援事業」等、栗高生対象の就職前職業ガイダンスの実施　など



Ⅴ 都市基盤

～安全・安心で快適なふるさとづくり～

［１］道路・交通

幹線町道の道路改良・舗装や交通安全対策の実施	道路改良・舗装（杵臼本線、湯地継立線）、交通安全対策（錦１号線歩道整備）の実施
新規 国道及び道道の整備促進	国道２３４号整備促進期成会、道道夕張長沼線整備促進期成会、新町通街路整備期成会と連携した要望　など
町道の道路環境の維持・向上	舗装個別施設計画事業、町道区画線標示工事、町道改修事業、街路灯ＬＥＤ化工事の実施　など
地域公共交通の維持・確保と利便性の向上	地域公共交通活性化協議会の開催、民間バス路線維持支援、さっぽろ圏への交通アクセス向上の検討　など

［２］住宅・住環境

充実 住宅団地の造成	中里住宅団地第一期の造成、中央住宅団地の造成、住宅団地の販売促進
若者、子育て世代が定住しやすい環境の整備	若者、子育て世代の移住者を対象とした新築・中古住宅取得費用助成制度　など
充実 公営住宅の整備・改修	公営住宅の建替え（中央団地、継立団地、中里団地）、公営住宅の改修　など
生活環境保全と防犯のための空き家対策	空き家の実態把握、空き家の発生抑制、適切な維持管理、特定空き家等の解決に向けた取組
住宅の居住性や住環境の向上	バリアフリー改修工事・解体工事・耐震改修工事への支援、栗山町生活基本計画の見直し

［3］上・下水道

水道管・水道施設の計画的な更新	４０年以上経過した老朽度の高い水道管の更新、桜山浄水場及び各ポンプ場の機器・計装設備等の更新　など
下水道施設の計画的な更新	更新時期を迎えた機器の計画的な更新

［4］河川

河川環境の改善と水害の防止	緊急浚渫推進事業（トキト川・杵臼川）、河川の土砂撤去や倒木除去・樹木の伐採

［5］街なみ・景観

充実 旧継立中学校施設の活用など南部地域の振興	旧継立中学校施設の活用、幹線道路等の整備推進、日出生活館の改築
充実 将来を見据えた市街地整備の検討・推進	立地適正化計画を踏まえた市街地の整備検討、スキー場跡地を活用した御大師山周辺整備　など
充実 錦地区の街なみづくりの推進	歴史的建造物の保存及び利活用の検討、錦地区周辺の整備推進　など
景観資源の保全・活用	良好な景観形成のための行為の制限、景観フォトコンテストの実施　など
公園施設の計画的な修繕・更新	栗山公園施設の更新・修繕、その他公園施設の更新・修繕等、公園施設長寿命化計画の見直し

Ⅵ 地域経営

～みんなの絆で支え合うふるさとづくり～

［1］コミュニティ活動

町民主体の地域づくり活動の支援	まちづくり協議会の活動支援、地域支援職員の配置、町内会・自治会の区域再編支援制度の創設　など

［2］行政経営

新規 適正かつ効率的な行政運営に向けた内部統制の推進	業務に関するリスクマネジメントの推進、職員によるコンプライアンスの強化　など
新規 ふるさと納税制度の効果的な運用	企業版を含めたふるさと応援寄附の推進、寄附金の活用による町民サービス向上及び関係人口の創出　など
充実 町税収入等の収納率向上	滞納管理システムによる滞納対策の強化、コンビニエンスストアにおける町税等の納付推進　など
多様な地域課題・ニーズ等に対応できる行政職員の育成	自己啓発研修、各種研修機関への派遣、民間団体等への長期派遣研修の検討、人事評価の実施　など
新規 ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）の推進	栗山町ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）推進計画の策定、行政手続きのオンライン化　など
新規 議会ＩＣＴ化を推進し、情報公開と共有及び町民参加の機会を保障	議会ライブ中継システム等の更新、委員会室会議システム映像設備の更新、ＩＣＴ研修の実施　など
広域連携による地域づくりの推進	南空知ふるさと市町村圏組合、炭鉄港推進協議会、北海道ボールパーク連携協議会への参画　など

［3］情報共有と町民参加

公文書等の適切な公開と情報提供の推進	公文書等の適切な管理・公開、改正個人情報保護法への対応、情報公開・個人情報保護審査会の運営　など
広報くりやまの発行など、行政情報を広く発信	広報くりやまの発行、町勢要覧・暮らしのガイドブックの作成、公式ホームページの運営　など
充実 情報収集・発信体制をつくり、町民との情報共有や町外への情報発信を充実	情報収集・発信する人材の育成、情報コンテンツ企画・制作・発信、コミュニティ放送局による情報発信　など
町長のまちづくり懇談会やふれあい訪問を行い町政の町民参画を推進	まちづくり懇談会やふれあい訪問（町長が職場や団体などに直接出向いての懇談会）の開催
町民との情報共有制度「くりやまキャッチボイス」の運用	くりやまキャッチボイスの運用
自治基本条例に基づき、町民への情報提供に関する仕組み及び町民参加機会を充実	各種審議会等の公開及び条例策定等のプロセスの公表、子どものまちづくり参加機会の確保　など
新規 町行政における女性活躍、男女共同参画の推進	庁内推進体制の整備、栗山町特定事業主行動計画の策定、政策・施策の立案に関する女性参画の促進　など
新規 職場・地域等における女性活躍、男女共同参画の推進	栗山町男女共同参画推進会議の設置・運営、栗山町男女共同参画アクション・プランの策定及び施策推進　など

栗山町第７次総合計画［概要版］令和５年４月発行

編集・発行　栗山町経営企画課　〒 069-1512　北海道夕張郡栗山町松風３丁目 252 番地
問い合わせ　［TEL］0123-73-7502　［E-mail］tiikiseisaku-g@town.kuriyama.hokkaido.jp
ホームページ　https://www.town.kuriyama.hokkaido.jp